

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

2

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	現状では適切なスペースが確保されていると考えるが、今後利用者が増えた場合には手狭になることも考えられる。現在でも、お子さんの入れ替わりの時間帯には混みあうことがある。事務スペースや相談スペースの変更、パーティションの設置場所の変更など、今後検討していくことがあるだろう。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	職員が増えたため、1月現在、適切である。しかし、4月からの週6日営業を考えると、今の人数ではうまく回らない場合も出てくるだろう。会社としての対応も始まっているので、今後、相談していきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	1	トイレなど、改善の余地が残されているものの、室内には段差がなく、現状では大きな不都合は生じていない。しかし、教室入口外の犬走りの段差は解消しなければならぬ。今年中の早い段階で解消できるよう、予算措置などを講じて対応していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	1	支援内容を定めるにあたり、指導員は頻繁に情報交換を行い、計画を立てて支援を行った後、自己評価を行ったうえでうまくいった内容や問題点を記録に残し、次の支援者に引き継いでいる。業務改善全般について、全員で話をする機会が少なかったのは反省点として残っている。今後改善していきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	毎年、12月に事業所評価のアンケートを保護者の方にお願ひし、1月にその結果を職員全員で検討している。今年度も同様の日程で進めている。ただ、すべての方のご意見が集まったわけではないこと、アンケートに書いていただけていないことが活動の振り返りの時間などに出てくること、意見を書いていただいた方が少なかったことなど、このアンケートで保護者の方のご意向がすべて把握できたと思うのは適切ではないと考えている。普段の支援時にいただく声にしっかりと耳を傾け、業務改善に生かしていくことが大切だろう。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	本年も2月に当教室のホームページで公開することになっている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	0	外部評価については、行われていることを新しい職員に伝えていなかった。評価結果が示されたときには、職員で共有し、業務改善につなげていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	発達支援研究所による研修や事例検討会、長野市や長野県が主催する研修会などには積極的に参加してきた。参加するための日程調整も行ってきた。
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	今年度も1月からアセスメントを行うことになっており、職員で項目についての共通理解を図っている。3月までには全員のアセスメントを終え、日々の支援に生かしていく予定で進めている。

支 援 の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	すべてのサポート教室で利用している、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	1	プログラムを作成するにあたり、会議の時間を特別に設定してチームで検討しているわけではない。しかし、指導員は前回の支援内容について丁寧に記録を残し、その記録を読んだ次の担当指導員が前任者と頻繁に情報交換を行い、計画を立てているため、指導員相互の連携はしっかりと取れている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	平日の午前中や担当する支援がない時間、指導員は教材作成に励んでおり、できた教材については全員で情報共有している。教材作成時には、支援を行うお子さんの姿を想像して作っている。こうして教材開発を進めていくことで、プログラムの固定化を防ぎたいと考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	平日か休日か、というより、支援日にそのお子さんや保護者の方が何を求めて来校されるのかによって課題を設定したり、内容を変更したりしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	2	本年度は個別活動が中心で、集団活動はごく限られた時間で実施したにとどまっている。集団活動の実施及びその内容については、現在検討を行っている。お子さんの様子や保護者の方のご要望も踏まえて今後の方向を決めていきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	0	支援開始前には、前回の担当者とその日の担当者として活発な意見交換がなされている。支援記録を読み込んで、前回と継続した支援ができるよう心がけている。個別活動がメインであるため、役割分担を決めることは特になく、必要な場合には臨機応変に対応している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	1	平日も休日も支援が立て込んでおり、18時の枠まで埋まっていることが多いため、支援終了後の打ち合わせができないこともある。しかし、その場合にも翌日には支援記録を入力して次の担当者に引き継ぎ、担当者同士での情報交換に生かしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	指導員は、支援中のお子さんの様子だけでなく、以前と比べて成長したと感じる点や保護者の方から伝えられた相談などについても、丁寧に記録に残している。そのため、そのお子さんの記録をさかのぼっていくと、お子さんの成長の様子が見えてきたり、今後の支援の方向が示唆されたりする。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	1	振り返りの時間に加え、保護者の方に時間をとっていただいてモニタリングを行っている。ただ、モニタリングが遅れているご家庭もあり、保護者の皆様にはお詫びしたい。この遅れが早く解消できるようにする。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	1	ガイドラインを複数組み合わせ支援計画を作成しているが、新しい指導員とガイドラインについて確認する機会を持ってこなかったことを反省している。共通理解を図る機会を取るようにする。
関 係 機 関 や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	1	教室外で行われる支援会議は管理者が、教室内だと指導員と管理者が出席している。お子さんの状況に精通しているのは指導員だが、支援時間中の会議だと指導員は出られないこと、他機関との連携だと管理者の方が適していることなど、状況によって誰が適任かも変わってくる。最もふさわしいものが出られるよう努めていく。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	行事予定や下校時刻などは、必要な範囲での連絡は取り合っている。きりり利用時にお子さんにトラブルが発生した場合には、必ず保護者にお伝えしている。保護者の方から、学校でのトラブルや気持ちの状態などについての連絡をいただくこともあり、支援内容を組み立てるうえで、とても助かっている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	医療的ケアが必要なお子さんに対して、教室での環境調整を行うことはできても、医療的ケアまで行うことはできないため、ケアについての連絡体制はとっていない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	入学前には頻繁に情報共有や相互理解に努めるが、入学後（放デイ利用時）は、1年生の4月や5月に支援会議がある場合を除き、情報共有は行ってこなかった。ある園から、この内容についての情報交換の必要性を伺っており、今後検討する。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	0	本年度は、学校を卒業して障害福祉サービス事業所等へ移行したお子さんがおられなかったため、情報提供を行う機会がなかった。昨年度は就職先の事業所に向き、情報交換を行っている。今後、このような機会があれば積極的にかかわっていきたく考えている。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	0	2	いくつかの専門機関とはすぐに連絡が取れる体制ができており、今年度も何件か照会している。また、専門機関から講師を招いて保護者交流会を実施したこともあった。今後もすぐに連絡が取れるような体制を維持していくとともに、新しい連携先も作っていきたく考えている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	放課後児童クラブや児童館、障害のないお子さんとの交流の機会は作ってこなかった。外に出て活動を行うことが難しいことを考えると、このような活動を行う機会は取れないだろうと考えている。現在も実施予定はない。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	1	今年度はwebで1回行われたただだったが、参加した。今後もこのような機会があれば参加したい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	振り返りの時間に、その日の様子を丁寧に具体的にお伝えしたり、ご家庭からの要望を伺ったりすることで、共通理解を持つことができるよう心がけてきた。ただ、この点については、これで充分ということはない。今後も共通理解が深められるよう努めていく。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	1	支援後の振り返りの時間に指導員が相談にあたることに加え、多くの保護者の方が悩んでおられる問題について、外部講師を交えての保護者交流会を行い、情報提供や意見交換を行うことで、保護者の方の支援になればと願ってきた。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	契約時にはできるだけ丁寧に伝えよう努めているものの、それ以降は、初めて利用料のご負担をさせていただくときを除き、説明の機会を持ってこなかった。特に利用者負担については分かりにくいところがあり、今後新たな資料を作成することを検討したい。支援内容については、指導員が丁寧に説明しようと努めているが、十分に意図が伝わっているか、常に振り返ってきたい。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	相談に応じるための体制を作ったり、保護者交流会で他の保護者の方とのつながりを作ったりするよう努めてきたが、一人で抱え込んでいるのではないかと心配になる保護者の方がまだおられる。お声がけしてはいるが、適

					切に必要な支援ができていのかどうか心もとない。今後いろいろな機会を通して保護者の方を支援していきたいと考えている。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	1	保護者会は、今年は1月までに5回開くことができた。保護者の方向士が支えあっておられる様子が見られ、ありがたく感じている。父母の会の活動への支援までは行っていない。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	対応の体制は整備しており、契約時には保護者の方にもお伝えしてあるが、果たして使いやすいものかどうかは疑問が残る。苦情があった場合は誠実に対応しようと努めたものの、相手の方にとって満足のいく対応ではなかった可能性がある。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	1	LINE 一斉送信を毎週1回以上行い、教室からのお知らせや、保護者の方のお役に立ちそうな情報を発信してきた。多くの方に読んでいただいていることに感謝している。今年度は指導員からの発信も行うなど、より親しみのある内容を目指してきた。今後も内容の充実を図っていききたい。また、ブログの更新が滞っているので、早めに対応していききたい。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	個人情報の扱いには十分に留意しているつもりではあるが、これで充分ということはなく、私たちの意識していないところで杜撰な扱いがなされている場合がないとは言いきれないだろう。研修を積んだり、個人情報に関する同意書の内容を再確認したりすることで、個人情報に対する自分たちの感覚を磨いていきたい。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	振り返りの時間や、保護者との相談の時間を通して、意思疎通や情報伝達のための配慮につとめているものの、さらに適切な配慮ができる面がないか、今後も考えていかなければならない。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	4	地域の方を招待するような機会は作っていない。しかし、地域の方と一緒に雪かきをしたり、教室周辺の環境整備を行ったりすることで、地域とのつながりを作ってきた。その結果、例えば保護者交流会で駐車場が必要な時には快く貸して下さる方がおられるなど、地域の方に理解され、支えられる事業所になってきていると思っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	1	左記のマニュアルはすべて整備されており、緊急時と感染症のマニュアルについては保護者の方に機会あるたびにお知らせしてきたが、防犯マニュアルは周知してこなかった。いつでも見ていただけるよう教室内に設置するなど、周知方法を今後検討する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	職員は毎月、防災訓練を行っている。近年、災害が多発していることを踏まえ、年間計画を見直し、新しい内容にも取り組んできた。1月には保護者の方に171体験をしていただいたのも、新しい試みとして良かった。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	長野市や長野県が主催する研修会には必ず出席しており、全員が参加できるよう、予定を調整している。もし問題のある対応が教室内で発生した場合には、遠慮なく指摘できる雰囲気ではなければならない。北長野校が遠慮なく指摘できる教室かどうか、自己評価に加えて第三者による評価もしていただきながら見直しを行っていききたい。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	0	身体拘束が必要な場合についての保護者の同意書は作成してある。ただ、支援計画への記載は不十分であった。また、新しい職員にこのことをまだ説明していなかった。どのような場合に身体拘束を行うことができるかについて、職員全員で共通理解を行うことは重要。早急に対応する。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	食物アレルギーの有無について、支援会議で情報を得ている。しかし、教室では食事を提供していないため、医師の指示書は入手していない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	2	ヒヤリハット事例が発生した時には、状況への対応を行うとともにすぐに保護者や上長に連絡を行い、状況改善後に報告書を作成して提出し、確認がなされたのちに印刷してファイルに保管している。ヒヤリハット事例が発生した時には、全職員で情報共有している。しかし、これまで発生した事例についての情報共有や、事例が発生した場合の対応については、新しい職員に伝えてこなかった。改善する。



## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校 保護者等数（児童数）：54 回収数：46 割合：85%

※ 「ご意見、ご意見を踏まえた対応」の記載については、

- ・ 保護者の方からいただいたご意見
- ご意見を踏まえた対応 と分けて書いてあります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	43	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受けたい支援を受けるのに必要で十分なスペースです。</li> <li>・欲を言うならば、もう少し広いスペースがあれば良いと思う。</li> <li>○個々のお子さん用の支援スペースの広さは充分だが、入れ替わりの時間が近くなると教室が混み合ってしまうことがある。活動のスペースとしては充分だとしても、感染対策という面できめ細かな対応をしていかなければならない。</li> </ul>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	40	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりの専門性は知らない。</li> <li>・子どもたちが増えてきたため、先生たちももう少し増えてもよいのかなと思う。</li> <li>・子どもの問題行動に対して親がどう向き合うとよいか、指導員の方からもっとアドバイスしていただくと助かります。</li> <li>○職員数は昨年度より増えており、それぞれの職員は全く違った専門性を持っている。それぞれの強みが発揮でき、保護者の方との相談などにも行かせるよう、情報発信を考えていきたい。</li> </ul>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	34	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差もなく、入口に入ったら職員さんが声をかけて下さいます。支援も1対1なので安心です。</li> <li>○教室内は段差がないものの、教室の入口外の段差を気にするお子さんもおられる。教室の北側を入口にすることも考えたが、教室の指定申請での許可の内容や非常口が西側の入口となっていることにより、変更は難しい。段差を解消するよう、ステップ等の設置を考えていく必要がある。</li> </ul>
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	44	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だいたい子どもにあったプログラムを提供していただいている。時々これで時間が終わったのかと思う時もあった。</li> <li>○毎回の支援内容が、お子さんの課題や保護者の方のニーズに合った、内容の濃いものであるかどうかを、しっかりと検討していきたい。来てよかった、力が伸びたと言ってもらえるような支援を積み重ねていきたい。</li> </ul>
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	39	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（支援内容について）相談にのってもらえます。相談すると職員さん全員で周知していただき、きちんと対応していただけます。</li> <li>○指導員はいろいろな教材を探しながら毎回の支援に取り組んでいる。しかし、学習中心のお子さんの場合などでは、固定化しがちな面があるかもしれない。今後の検討課題としたい。</li> </ul>
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	22	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の利用がないので、そのあたりのことはこだわっていないです。</li> <li>・交流したことがないのでわからない。</li> <li>・個別支援なので求めている。</li> <li>・個別だから必要ないかと。</li> </ul>

					○これまでこのような交流を行ったことはない。今後、必要性が生じてきたときには計画を立てていきたい。	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	46	0	0	○支援内容については指導員が、利用者負担については管理者が説明を行ってきた。保護者の方にしっかりと内容が伝わるよう、今後も努力していきたい。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	44	2	0	・課題についてもっと教えてほしい。 ・先生方も忙しそうなので、聞きたいときに聞けないときがあるが、折を見て相談できる。 ○職員が忙しそうにしている、保護者の方が声をかけにくいことがないか、心配している。保護者の方とお話することも私たちの大切な仕事である。声をかけやすい雰囲気になっているか、これからも自己評価していきたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43	3	0	・指導員とゆっくと話が出来る交流会も企画してほしい。 ○今年度の交流会は、外部講師を招聘して行う場合がほとんどだった。1月と2月には指導員を交えての保護者交流会を計画している。今後もいろいろな形態での交流会を考えていきたい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43	3	0	・保護者交流会に出たことがないのでわかりません。 ・積極的に計画されており、参加の場で交流がしやすい。 ・保護者会があるため、先輩保護者の意見をきけるので、ありがたい。 ○曜日や扱う内容を変えることで、できるだけ多くの保護者の方に来ていただけるような会を目指してきた。以前に比べると保護者の方同士のつながりが出来てきたように思うが、まだ一人で抱え込んでおられるのではないかと感じる方もおられる。今後も方法を工夫していきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	6	0	・よくわかりません。 ・まだ、そのような場面にあっていないので、わからない。 ○苦情を伝えていただく機会が少なかったが、問題は苦情を伝えやすい雰囲気になっているかどうかだ。教室としても、苦情を、より良い教室を作るために必要なものと捉える姿勢を持っていなければならない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	3	0	○十分な配慮が出来ているかどうかは甚だ心許ないが、一定の評価をいただけたことはありがたく感じている。これからもしっかりと配慮がなされているかを考えながら行動していきたい。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	44	1	0	・LINEでのお知らせの他にもおたよりでのお知らせがあります。あと、先生方がよく声がけして下さいます。 ・多分以前ほど小集団のイベント等がなくなったため、ブログの更新が少ないのだらうと思っています。 ・LINEでとてもよく情報提供されており、資料も沢山用意されていて素晴らしいです。 ○LINEではできるだけ多様で役に立ていただけるような情報を定期的にお伝えするよう心がけてきた。ブログの更新が滞っているので、今後改善していきたい。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	46	0	0	○この点については、これで充分と言うことはない。印刷物での記載内容やLINEでのお知らせ、保護者相談や振り返りの時間での発言等、こちらが気がつかないうちに個人情報に関する同意書の内容を逸脱してしまっていることがないか、職員全員で確認していかなければならない。
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	43	4	0	・親も緊急時対応などの説明を受けたが、忘れてしまう。このご時世なので、何が起こるかかわからないため、張り出して見える化してよいのではないかと。

等 の 対 応					○各種マニュアルは作成してあるものの、特に防犯マニュアルについては周知・説明が不十分だった。見える化のご指摘は重要なご意見なので、より目立つ場所に掲示するようにしたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27	15	2 ・よくわかりません。 ・利用児童には行われていないので、何らかの訓練をやってみてもよいと思う。 ○1月に保護者の方を対象にした171体験を実施したのは、最近の災害の多さへの懸念や、職員だけでなく、保護者の皆さんにも加わっていただくような活動が必要だと考えたためだ。171以外にも有効な手段がないか、今後検討していくことになっている。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	43	3	0 ・クリスマス会等のイベントよりきりでの工作を楽しみにしています。 ○いやいや通所しているようでは、そのお子さんの力はあまり伸びないだろう。その子の好きな活動だけではなく、苦手な活動も当然取り入れているが、できた、褒められた、といった、活動へのその子の意欲を高めるような働きかけをこれからも大切に考えていきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	43	3	0 ・支援内容に対する指導員の共通理解を深めてほしい。 ・欲を言えば自閉やLDなどと診断を受けていないグレーな子ども、学校や親御さんが支援を受けたいのではと考えるようなお子さんも、きりりで支援を受けられたら良いと思います。2Fが空いているのであれば、2Fも使ってたくさんのお子さんや親御さんがサービスを受けられるといいなと思いますが、何があっても、今現在の支援に満足しており、これからも受け続けたいです。 ・いつもありがとうございます。 ・今年度は職員の入れ替わりが多く、昨年度のほうが要望に沿った支援をしていただいたと感じる。 ○職員の入れ替わりが多かったことについては、心よりお詫び申し上げたい。職員が頻りに変わったことで連携がうまくいかない面があったのではないかと考えている。1月現在、各指導員はいつも連絡を取り合って支援計画を立てており、こういった職員の連携を大切にいくことで、お子さんや保護者の方に信頼していただけるような事業所にしていきたい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。